

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-I-21

4-I
-21

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	21 渋滞等予測調査の実施	事業実施期間	事業主体	佐渡市建設課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	【事業目的】	○ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。		
	【事業内容】	○現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増客想定による渋滞予測を行う。		
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	●世界遺産登録後に予想される交通渋滞の緩和対策の一環として、「アクセス道路や駐車場を対象とした現況・利用実態調査」及び「他市の状況を参考とした世界遺産登録後の来訪者数予測調査」等の実施に向けて準備を進める。		
	【30年度実績】	●登録後に予想される交通渋滞の緩和対策の一環として、「アクセス道路や駐車場を対象とした現況・利用実態調査」及び「世界遺産登録後の来訪者数予測調査」等の実施に向けて計画どおり準備を進めた。		
課題・ 今後の 取組	【課題】	令和元年度に行う調査は、来訪者がピークとなる7月～8月にアクセス道路や駐車場の現況・利用実態調査を行い、他市の世界遺産登録前後の状況を参考に登録後の来訪者数を予測し、これを基に「登録後の交通渋滞による課題の整理」を行なうもので、早期の事業着手が必要となる。		
	【今後の取組】	今後、世界遺産登録後に予想される交通渋滞の緩和のため、令和元年度に「世界遺産登録後の交通渋滞に伴う課題の整理」が、令和2年度には、この調査結果を踏まえた「交通渋滞緩和のための対策の検討」が必要となる。		
事業 評価	【事業の達成度】	世界遺産登録に伴う交通渋滞緩和に向けて準備を進め、平成31年度に、アクセス道路・駐車場の現況・利用実態調査、世界遺産登録後の来訪者数予測調査等を実施することとなった。		
	【事業実施の効果】	[a・ b ・c]		
	【総合評価】	[A・ B ・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。